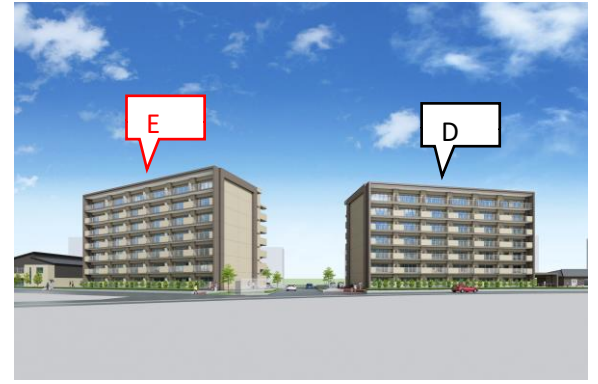


# CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	愛知県宮野並住宅 E棟	階数	地上7F
建設地	愛知県名古屋市天白区福池一丁目140番の一部	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域、31m高度地区、緑化地域	平均居住人員	91人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2021年11月4日
敷地面積	2,731 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	567 m <sup>2</sup>	確認日	2021年11月4日
延床面積	2,525 m <sup>2</sup>	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>= BEE1.5</b></p> <p>★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C:★☆☆☆☆</p>	<p>☆☆☆ 100%超 ☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 60% :30%</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Qのスコア = 3.0</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 2.8</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 3.4</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.4</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>既存住棟(4階建)の建替え事業である本計画は、中層化(7階建)することで敷地内平面駐車場、児童遊園を広く確保し、地域のコミュニティーを促進します。</p>		<p><b>その他</b></p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>室内化学物質調査では規定値をクリアされている。</li> <li>F☆☆☆☆以上を全面的に使用し、室内化学物質調査をしている。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法上の耐震性をクリアしている。</li> <li>住宅性能表示基準劣化対策等級3をクリアしている</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地内緑地を条例基準以上確保している。</li> <li>地域を考慮した外観デザインを採用している。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅性能表示基準断熱等性能等級4をクリアしている。</li> <li>南側バルコニーとしている。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大便器を節水型ロータンクとしている。</li> <li>基礎部分に高炉セメントを使用している。</li> <li>有害物質を含まない材料を使用している。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分別可能な特定ゴミ置き場を設置している。</li> <li>適切な量の自転車置場、駐車スペースを設けている。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

愛知県営野並住宅 E棟

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.9
LR1	エネルギー	4.2	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.8	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.066666667	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.5
LR2.1	水資源保護	3.6	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.5	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.016666667	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 3.9



#### 2. 自然共生

評価点 = 2.9



#### 3. 循環型社会

評価点 = 3.5



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。